

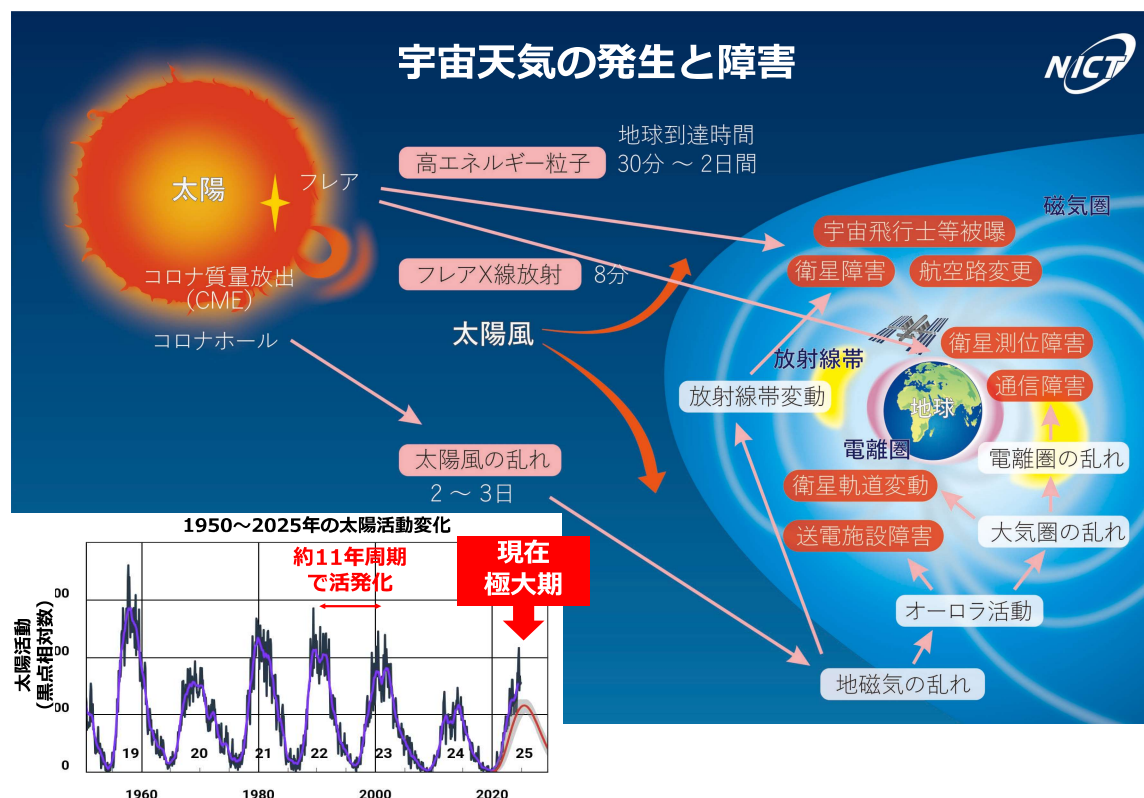
宇宙天気予報

～ 安心・安全な社会インフラ利用のために ～



概要

太陽活動は約11年周期の極大期を迎え、フレアの頻度や規模が増大しています。太陽活動により地球近傍の宇宙環境は変動し、電波利用や航空・衛星運用など社会インフラに影響を与えます。NICTの宇宙天気予報の取り組みをご紹介します。



特徴

- ・ 24時間/365日宇宙環境を監視し「宇宙天気予報」発信
- ・ 国際協力のもとで宇宙環境をリアルタイム観測
- ・ AIやシミュレーションによる予測 → **AI03 協創棟3階**

ユースケース

- ・ 電波利用（通信・放送・衛星測位など）への影響監視・予報
- ・ 航空運用（通信・測位・被ばく）への影響監視・予報
- ・ 衛星運用（帯放電・障害）への影響監視・予報

今後の展開

- ・ 観測の安定運用と予測精度の向上
- ・ ひまわり10号を含む衛星搭載用宇宙環境センサの開発
- ・ 社会影響を考慮した新基準による予警報システム公開
- ・ 宇宙天気情報利用ガイドラインの策定

【お問合せ先】

電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター 宇宙環境研究室
Mail : SpaceWeather@ml.nict.go.jp